

主催：浜松市、浜松科学館

浜松科学館夏休み特別展
「生き物から学ぼう！展」開催記念講演会

私たちは 生き物からどんなことを学べるのか ～バイオミメティクス講演会～

近年、生き物が持つ仕組みを技術的に利用したり、新しい技術の開発やものづくりに活かしたりする「ネイチャーテクノロジー」や「バイオミメティクス」といわれる生物模倣技術が注目されています。
私たちは、生き物から何を学び、何をを目指すのか。
2人のトップランナーと共に考えていきましょう。

**参加費
無料**

日時 平成 28 年 7 月 24 日(日) 10:00～12:30(受付 9:30～)

会場 アクトシティ浜松 研修交流センター 4階 401 会議室

対象 中学生、高校生、専門学生、大学生 50名(先着順)



“ナノスーツ法”とは何か？

～ここまで進んできたバイオミメティクスの世界～

講師：針山 孝彦 氏（国立大学法人浜松医科大学 医学部 教授）



大学生ロボットクリエイターチームはどこへ行くのか？

～ペンギン型水中ロボット“もるペン!”の進化～

講師：近藤 那央 氏（ロボットいきもの工房 TRYBOTS 代表）

参加申込書 申込み締切
7月22日(金)15:00

FAXかE-mailでお申込みください。

FAX 053-457-2563

E-mail shogaigk@city.hamamatsu.shizuoka.jp

フリガナ	学校名・学年	住所
氏名	電話番号	E-mail
フリガナ	学校名・学年	住所
氏名	電話番号	E-mail

※ご記入いただいた内容は、当事業の参加者把握のために利用するほか、事務連絡や関連事業の情報提供のために利用することがありますが、第三者に公開するものではありません。

【申込・問合せ先】浜松市 市民部 生涯学習課 TEL:053-457-2413

針山孝彦氏

国立大学法人浜松医科大学 医学部 教授

略歴: 1983年、東北大学応用情報学研究センター応用生体情報学助手。2001年、浜松医科大学医学部助教授。2004年、同大学教授。その間、オーストラリア国立大学(昆虫複眼の側抑制機構の電気生理学的解析)、ニュージーランド・ワイカト大学(南極スコット基地)(極地の恒常光条件下における生物の視物質発色団の長期的解析)、ケニア・ICIPE(国際昆虫生理生態研究所)(眠り病を媒介するツエツエバエの視覚情報を使ったコントロールの研究、およびヒト視力のフィールド調査)、フィンランド・ヘルシンキ大学(カエル網膜を用いた神経系の光情報変換系の解析)、オランダ・グローニンゲン大学の客員研究員(昆虫の網膜の反射層の構造学的解析および昆虫の翅の構造色の起源と色弁別脳の関連の研究)、イタリア・フィレンツェ大学客員教授などを兼任。

専門分野: バイオメティックス、視覚生理学、NanoSuit®を用いた超微細構造観察、光生物学

研究テーマ: 動物の行動の仕組みと環世界、視覚情報処理機構、構造色、節足動物の表面構造、生物の自己組織化 など

近藤那央氏

1995年12月24日生まれ。慶應義塾大学環境情報学部在学中の20歳。

高校時代に5人からなるペンギンロボット開発チーム”TRYBOTS”(トライボッツ)を結成し、2014年すみだ水族館にてペンギンと一緒に泳がせた。

Tokyo Designers Week 2014 スーパーロボット展出演、日本テレビテクノロジー番組 SENSORS メンバーとして取材も行う。

個性的な女の子を発掘するオーディション、ミスiD2015にて4000人の中からミスiD2015を受賞。

ロボットの事業化を模索中。将来の夢はスマホのようにロボットが生活にとけ込んでいる未来をつくること。いままで交流できなかった分野にロボットを広めようとしている。

MT車とグライダーの免許を持っていて運転するのが好き。

